

「つきのかわふれあいサポートムーンリバー」はこの事業に応募し、長崎県内で初めてこの事業に選ばれた団体となりました。

調川老人憩の家で7月21日、公益財団法人キリン福祉財団常務理事の山本剛史さんから「選考委員会において、皆さんの活動が知識・技術・経験を活かし、高齢者のふれあいの場『お寄りませ』を活用した昼食の提供や送迎は、老人会がなくなった地域で自発的に始まった高齢者の

シルバー「力」応援事業は、公益財団法人キリン福祉財団が「高齢者が自分たちの知識・技術・経験を地域のために活かそう」というボランティア活動を応援するもので、平成23年度から始まりました。

平成26年度は、全国から79団体の応募があり、47団体に助成されることになりました。

シルバー「力」^{ちから} 応援事業

つきの川ほっとステーション
「お寄りませ」の1日

9:00 サポーター集合
昼食準備スタート



10:00 「いきいきサロン」スタート
この日はサポーターが講師となってゲームをします。



12:00 昼食
みんなで楽しくお話ししながら、おいしい昼食をいただきます。



13:00 移動販売でお買いもの



14:00 参加者帰宅
サポーター反省会開始
今日の参加者を確認したり、今回のメニューなどを話し合います。
サポーターの皆さんも、ゆっくりおしゃべりを楽しみます。



15:00 サポーター帰宅



▲目録を受け取る山口さん（左）とキリン福祉財団の山本さん（右）

居場所作りとして高く評価されました。今回の助成を契機に皆さんの活動の輪が広がり、より一層地域に貢献されることを期待します」と、シルバー「力」応援事業助成金の目録が贈呈されました。

「ムーンリバー」のサポーターたちは、自分たちの活動が認められたことに喜び、とても誇らしげでした。そして、これを励みにもっと頑張ろうと、目を輝かせていました。

「つきのかわふれあいサポートムーンリバー」の皆さん ▶

（後列左から）
宮地敏雄さん・荒木芳子さん・
山口建子さん・佐竹常子さん・
福永律子さん

（前列左から）
辻 尚子さん・山田正枝さん・
高橋福代さん・松江房子さん

※このほかにも、送迎ボランティアを行うメンバーがいます



▲ 橋口イネ子さん

「みんなと一緒に食べるなら、ごちそうじゃなくてもここに来るだけでよかとです。朝・昼・晩と一人だと何もおいしくない。寝込んだら自分が困るし、家族にも迷惑を掛けたくない。体操で手足を動かして元気でありたい」



▲ 森 好秋さん

「年を取ると会話を求めて出て行かないといけない。二人いれば会話ができる。ここに来ればみんなと会って話ができるのが楽しい。来ている人たちと話が合うとですよ」

参加者の声

広がる支援の輪



松山商店
杉山 美智子さん

「お寄りませ」が始まった3月から移動販売にきています。口コミで広がり、買い物に集まっていただけのように嬉しくなっています。皆さんに必要と思われる品物を最低限揃えて来ています。

お客さんたちは料理を作る人ばかりで、調理法など初めて聞くことも多くて勉強になります。皆さんとてもパワフルで、元気ももらっています。

惣菜ばかりだと自分で料理を作ることをしなくなります。自分で食材を工夫して調理することは頭や手先の運動になります。必要な食材などリクエストがあれば、翌週持って来ます。

待ち時間には皆さんとおしゃべりして、憩いの時間となっています。毎週ここに来るのが楽しみです。



調川防犯ボランティアセンターで毎週水曜日午後1時から、末武恵美さんと二人で移動販売をされています。

地域の皆さんの要望を受け、今では前浜でも移動販売をされています。新鮮な魚や野菜、パン、惣菜など種類も豊富で、商店のない地域の皆さんは心待ちにしています。



調川地区
澤邊 武彦さん

「お寄りませ」の立ち上げの時、調川地区社会福祉協議会の会長をしていたこともあり、何か協力できることがあればと思い、「お寄りませ」と移動販売車の開催日時のチラシを作っています。

調川は、「人が集まればお互いに役を受け持って盛り上げようとする」、「すぐに一つにまとまる」とてもいい町です。

この「お寄りませ」が始まってから、調川は明るくなったと思います。盛り上がっていく調川の様子を見ることができ、とても嬉しく思います。一人でも多く、参加する人が増えてほしい。昔話をしたり、とにかく人が集まって話をするのが一番です。



澤邊さんが毎月手作りしているチラシが掲示板に張り出されています。チラシを見た地域の皆さんは「お寄りませ」へ参加したり、移動販売の日には買い物へ来ることができます。

また、移動販売の待合所として利用できるように、調川防犯ボランティアセンターの鍵を掛けて開放しています。



愛光園
久家 省三さん

送迎車を貸し出すことで「お寄りませ」の皆さんの手助けになり、社会貢献できているなら嬉しいです。

現役で頑張っている高齢者も多く、何か自分にできることを見付けることで生きがいを感じ、張り合いを持つことは十分介護予防の効果があります。

「お寄りませ」はまだ走り出したばかりですが、調川地区だけでなく、他の地区にも同じ考えの人が出てきて、この活動の輪がずっと広がり、長く続いてほしいです。

地元の人たちのやる気が一番です。そして、頑張っている人たちへの支援も大切です。支援も最初の一步を踏み出すことが大事です。



「ムーンリバー」の活動を知り、愛光園から使用しなくなった車いすが寄贈されました。

また、園の送迎車を空いている時間に無償で貸し出されています。自宅から調川老人憩の家までの歩行が困難な人たちは、送迎してもらえるので「お寄りませ」に参加できると喜んでいました。